



NO.22 令和7年4月1日

かけはし

編集

(広報委員会)

赤池、渡辺、菊川

原口、久保、福村

事務局

所沢市こども未来部

青少年課

TEL 2998-9103



不登校やひきこもりの青少年との 向き合い方を聞く

私たち青少年育成推進員が構成する所沢市青少年育成推進員協議会では、例年9月に講師をお招きして、青少年の健全育成活動に資する研修会を開催しています。令和6年度の研修は、「不登校やひきこもりの向き合い方等について」と題して、NPO法人越谷らるこの鎌倉賢哉理事長にお話をうかがいました。その主な内容を紹介します。

不登校だからといって

問題のある子どもではない

昨年発行の「かけはし」21号でも取り上げたように、不登校の児童・生徒は年々増えています。令和5年度の小・中学校の不登校児童生徒数は11年連続で増えて約34万6千人、高校が約6万9千人と、過去最多になりました。不登校児童生徒数は、小学校で児童千人当たり約17人、中学校で約59人となっています。不登校は稀なことではなく、誰にも起こりうることです。

鎌倉さんは、市立の教育相

談員になったことがきっかけで不登校の子どもたちと出会いました。不登校の子が、環境が変わって安心できるようになると見えるほど元気になる様子を目の当たりにして、不登校だからといって問題のある子どもではないということに気づき、子どもの「思い」「現実」を受けとめなければならぬと考えるようになったそうです。学校に戻ろうとしても戻る場所がない子、そもそも既成の学校が合わない子もいることから、鎌倉さんは学校に復帰しなくてももののびのび育つ道はないかと考え、フリースクールのスタッフの道に進み、越谷らるごで不登校やひきこもりの子どもや若者の支援をされています。

安心してひきこもる・

休むことの大切さ

埼玉県ひきこもり相談サポートセンター長でもある鎌倉さん。相談を受ける上で大切にしていることは、①不登校・ひきこもりを否定的に見ない

②本人の側に立って考える③安心して引きこもる休むことの大切さ④言葉の奥を考えること、の4つだそうです。傷ついた体験などをきっかけに不登校など社会的な関係から撤退しようとしている時期の子に必要な支援は、無理に学校などへ行かせることではなく、安心してひきこもれるようにすること、と鎌倉さんは強調します。親ができるのは、美味しい食事を作り、家族関係をよくすること。つまり「家を安心できる場にする」ことだそうです。



学校に行っても行かなくても応援し続けること。子どもが再び何かをしようと思う時期になってきたら、必要以上に背中を押したり期待したりする

ことなく、本人がやりたいことをやるようにする。就学や就職がゴールではなく、豊かに生きられるかが大切。「支援とは受けとめること」、最後に鎌倉さんは言いました。

青少年育成推進員の活動を通じて、地域の大人としてできる「支援とは何かをあらためて考え行動していきたい」と、思いを新たにしました。(赤池)

地区だより 三ヶ島地区



三ヶ島地区は市内西部の若狭小、宮前小、林小、三ヶ島小の4校になります。

推進員はそれぞれ無理のない範囲で活動に参加してまいりました。

登下校の見守り協力、環境整備活動、担当校の運動会に参列や街頭啓発キャンペーンに参加など、担当区内外でコミュニケーションを図り、各々で目の前にあるニーズに気付いて自発的に行動を行う等、青少年に限らず高齢者への声掛けも行ってきました。

一人一人の小さな行動のつながりが沢山の情報収集を可能とし、子供達や高齢者の方々の変化に気付けることが安心安全な地域の一つになっていくと思います。

令和6年度 活動アピール



◆視察研修

2月7日、視察研修として、国立武蔵野学院に伺いました。国立武蔵野学院は、さいたま市にある児童自立支援施設です。施設は、自然に囲まれた敷地の中にあり、家庭的な少人数制の寮にて、心のケアや学習指導を行っています。寮舎のほかにも運動場やプールがあり、季節を感じられるイベント、スポーツ大会等を実施しています。身体を動かすことにより、自分自身の活躍の場、成長の場を提供しているとのことでした。



国立武蔵野学院

こどもたちと同じ目線に立ち、喜びや悲しみを分かち合うことの重要性を学べた1日となりました。

◆「家庭の日」推進事業

青少年「明日へのメッセージ」優秀作文表彰式
優良青少年及び青少年健全育成
成功発表表彰式に協力

毎年、所沢市と青少年育成所沢市民会議の共催で、「家庭の日」推進事業（青少年「明日へのメッセージ」作文の募集、青少年の健全育成に優れた実績のある個人団体の表彰を行っています。今年度作文は、小学生60点、中学生276点、計336点の応募がありました。

当協議会では、2月1日に新所沢まちづくりセンターにて行われた、表彰式の運営に協力しました。

今年度は6名のジュニア推進員も表彰の介添え、司会として活躍してくれました。



表彰式の様子（ジュニア推進員）

◆ジュニア推進員

大募集！

当協議会では、青少年の健全育成活動に協力してくれる中学生「ジュニア推進員」を募集しています。ボランティアに協力したいという方は、ぜひご応募ください。

令和6年度協力事業

・街頭啓発キャンペーン

・大型かるた大会

・「家庭の日」優秀作文表彰式

※問合せは事務局までお願いいたします。

▼申込書はこちら



▼申込書
はこちら



◆青少年の非行・被害防止（7月）／健全育成（11月）街頭啓発キャンペーンに協力

次代を担う青少年が、心身共に健やかに成長することを願い、7月13日及び11月9日に、所沢駅周辺で計3200組の啓発物品を市民に配布しました。

両日とも100名を超える方々が参加し、ジュニア推進

員も運営に協力してくれました（所沢市・青少年育成所沢市民会議共催）。



キャンペーンの開会式（長者久保公園）

本の紹介



『人生を変えたコント』
せいや（霜降り明星）／作
コニックス

今回紹介するのは、著者の半自伝小説『人生を変えたコント』。

お笑い好きの少年の周りには、いつも人が集まって来た。自分が「いじめ」の対象になるなんて思いもしなかった。

誰もが著者の様に解決できる訳ではない。この作品を通じて、いじめを受けている者にとつては、傍観している者もいじめをしている者と同じ

であること、いじめがどれだけ相手の心身を傷つけるのかということ、いじめをすることなどがどれだけかつこ悪いことなのかを知ってもらいたい。

（菊川）

人生を変えた



編集後記



小学生のスマホの普及率はどれくらいなのだろう。近年SNSで募集する「闇バイト」への加担を防止し、ネット犯罪等からもこどもたちを守らなければなりません。

“闇バイト体験ゲーム”

がTVで取り上げられていましたが、スマホの上手な使い方を教えるより体験を活用した方がネット犯罪から少しは守られるのかなと思ったり。

今後大切なのは本人を見て、話して、触れて、寄り添うことで犯罪に巻き込まれない、罪を犯さないことに繋がるかな・・・
（福村）